

メルマガ「運輸安全」第51号

□■□■□■□■□メルマガ「運輸安全」(R2. 2. 20. 第51号) □■□■□■□■□

~~~~ (目次) ~~~~~

(トピックス)

1. 運輸安全総合セミナー開催のご案内
2. 運輸安全マネジメントに関する各種セミナーのご案内

~~~~~

1. 運輸安全総合セミナー開催のご案内

運輸安全監理官室では、人手不足、運転者の高齢化・健康問題への対策、近年頻発化・激甚化する自然災害への対策、新型インフルエンザ等の感染症対応などの保安対策といった、運輸安全上の脅威に対する運輸事業者の対処ノウハウ向上の為、運輸安全総合セミナーを行っております。

このたび以下の通り開催を行いますのでご案内いたします。詳細及び申込み方法については以下の通りです。

■令和2年3月4日運輸安全マネジメント総合セミナー

開催日時： 令和2年3月4日(水) 14:00~16:00

会 場： 経済産業省別館238号会議室
東京都千代田区霞が関1-3-1

定 員： 40名(定員になり次第、締めきりとさせていただきます)

テ ー マ： 「超高齢社会のリハビリ運動型自動車運転外来について
~脳を守って運転寿命を延ばそう!~」

講 師： 愛宕病院 自動車運転外来担当医 朴 啓彰 氏
愛宕病院 リハビリテーション部副部長 沖田 学 氏

講演概要： 年間40万人以上が運転免許証を自主返納している。この中には認知症ドライバーが多く含まれているであろう。ところが、今なお高速道路の逆走やアクセル・ブレーキの踏み間違えが多発している。我々は、認知症でなくとも安全運転を維持できない高次脳機能低下が、その原因であると考えて

いる。高知市の基幹病院である愛宕病院では、認知症専門医とリハビリテーションスタッフが一体となって、認知症疑いの高齢ドライバーを対象に、ドライビングシュミレーター（DS）を駆使したリハビリ連動型自動車運転外来が2017年に開設された。世界でも初めての試みであり、NHKや読売新聞など主要メディアに取り上げられた。我々は、リハビリ前後におけるDSや認知機能評価から免許の更新や返納を判定している。本セミナーではリハビリ連動型自動車運転外来の効能と問題点、ならび今後の展望を提示する。また、脳の毛細血管がゴースト化して生じる白質病変が高次脳機能低下の一要因であり、高齢者であっても厳格な血圧管理を行うことで白質病変の増大を防ぐ（脳を守る）ことが、安全運転寿命の延伸化に繋がることを提案する。

申込方法：以下のURLよりご案内をダウンロードいただき、セミナー参加者様の情報を記載いただき、担当者までメールにて送付ください。

2. 運輸安全マネジメントに関する各種セミナーのご案内

○運輸安全マネジメントセミナーの開催について

今年度も国土交通省では、運輸安全マネジメント制度の理解を深めるための「運輸安全マネジメントセミナー」を本省および各地方運輸局で開催いたします。今後募集ををさせていただくセミナーは以下の通りです。

■リスク感受性向上セミナー

「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン～輸送の安全性の更なる向上に向けて～」の内、「安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等」について、現業実施部門の管理者に必要な「現場のリスクに気づく力（リスク感受性）」の向上を図るため、現場に存在する具体的な安全上のリスクを示しながら解説し、参加者が自ら考える参加型研修を行います。

■開催スケジュール（本省）

2020年3月開催分

リスク感受性向上セミナー（3月10日開催）

定員：16名

（申込み受付期間：2月3日（月）13:00～3月2日（月）16:00）

（定員になり次第、締めきりとさせていただきます）

リスク感受性向上セミナー（3月16日開催）

定員：16名

(申込み受付期間:2月3日(月)13:00~3月2日(月)16:00)

(定員になり次第、締めきりとさせていただきます)

※詳細のご確認及びお申し込みは下記 URL よりお願いします。

http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen_seminar.html